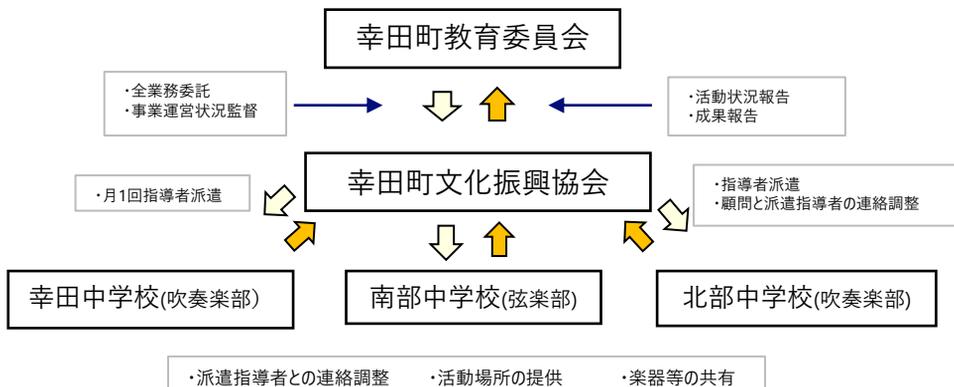


I. 基本情報

運営主体： 幸田町文化振興協会

事業目標： 中学校文化部活動を地域文化クラブ活動へ移行する過程の第一段階として、休日における活動に指導者を派遣し、生徒の技術向上を図ると共に、教員の時間外勤務の軽減を図る。
地域における文化活動に成果をあげている団体と連携することにより、質を担保した上で効率化を図る。

団体・組織等の連携



II. 活動概要・取組

目標

町内3中学校の吹奏楽部(幸田中、北部中)、弦楽部(南部中)の休日における活動に指導者を派遣し、生徒の技術向上を図ると共に、教員の時間外勤務の軽減を図る。地域における文化活動に成果をあげている団体と連携することにより、質を担保した上で効率化を図る。

活動の概要

幸田町教育委員会からの委託を受け、再々委託業者(幸田町文化振興協会)が連絡調整役となり、部活動顧問の要望を聞き取り、それを担うことが可能な指導者を選任派遣した。指導者の質の保障の観点について、再々委託業者(幸田町文化振興協会)は、年間をとおして、コンサートの実施や小学校へのアウトリーチ活動など、多種多様な音楽活動を行っており、複数の音楽家とのコネクションを有している。その中から本事業の目的に合致する人材を派遣した。

※活動の頻度・回数...各校年13回(月1回程度)

III. 成果

・地域における文化活動に成果をあげている団体と連携することにより、質の担保をした上で効率化を図ることができた。専門的な指導者、現役の音楽家(演奏家)を派遣したことで、生徒の技術向上、顧問の指導スキル向上を図ることができた。

・休日の部活動を、幸田町文化振興協会から派遣された指導者に任せることで、教員の時間外勤務の軽減にもつながった。

IV. 課題と今後の方針

今年度のアンケート結果を集約、分析し、来年度の実証事業の在り方を再構築していく。今は、教育委員会、学校、幸田町文化振興協会の三者で進めている本活動を、幸田町文化振興協会に完全に委託できる状況を整えることが、吹奏楽部、弦楽部については地域移行につながっていくのではないかと考えている。

活動種別

吹奏楽 弦楽合奏

運営形態

地域連携・複数校

活動場所

学校施設
公立文化施設

鍵、校舎管理の工夫・現状

顧問が学校施設の解錠、施錠をし、指導者を派遣する形をとっていたため、校舎・鍵の管理について問題は生じなかった。

参加生徒の基本情報

人数：幸田中(41)、北部中(38)、南部中(49)

活動日：各学年13回
(土曜日又は日曜日)

活動時間：1日3時間

指導者の基本情報

プロ指導者1名、プロ演奏家3名

※指導者謝金
3,500円(1,500+2,000)/時間
~5,000円(1,500+3,500)/時間

活動財源・自己調達財源

文化庁事業委託費 638,918円
自治体予算 558,069円